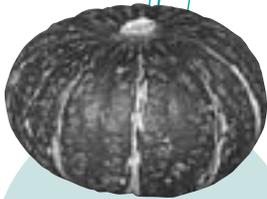


特集 札幌の農業

大地の恵みを受けて おなかいっぱい!

札幌が誇る

すてきな野菜たち



カボチャ

おいしさが評判の「大浜みやこ」
手稲山口の砂丘地帯で生産されている「大浜みやこ」。でんぷん質が高く、甘みがあり、全国有数の評価を得ている。



タマネギ

札幌を代表する農産物

本市で最も多く作られている農産物。甘さと辛さが調和した「札玉」に加え、近年、辛さが少なくサラダなどにぴったりの札幌生まれの新品種「さらら」(写真)が注目を集める。

農業王国といわれる北海道。しかし、国内5番目の人口を抱える大都市に住む皆さんの中には、「農業」といっても実感がわからない方も多かもしれません。札幌が、かつてリンゴやホップの一大生産地であったことを知る人も少なくなりました。今月は、そんな札幌の農業と私たちのかわりに目を向けてみました。

レタス

作付面積道内TOP!

主な産地は北区太平、篠路、茨戸。涼しい気象に適しているため、6月から11月まで長期間出荷され、市場では高い評価を得る。作付面積は道内市町村で第1位です。



ホウレンソウ

作付面積道内3位

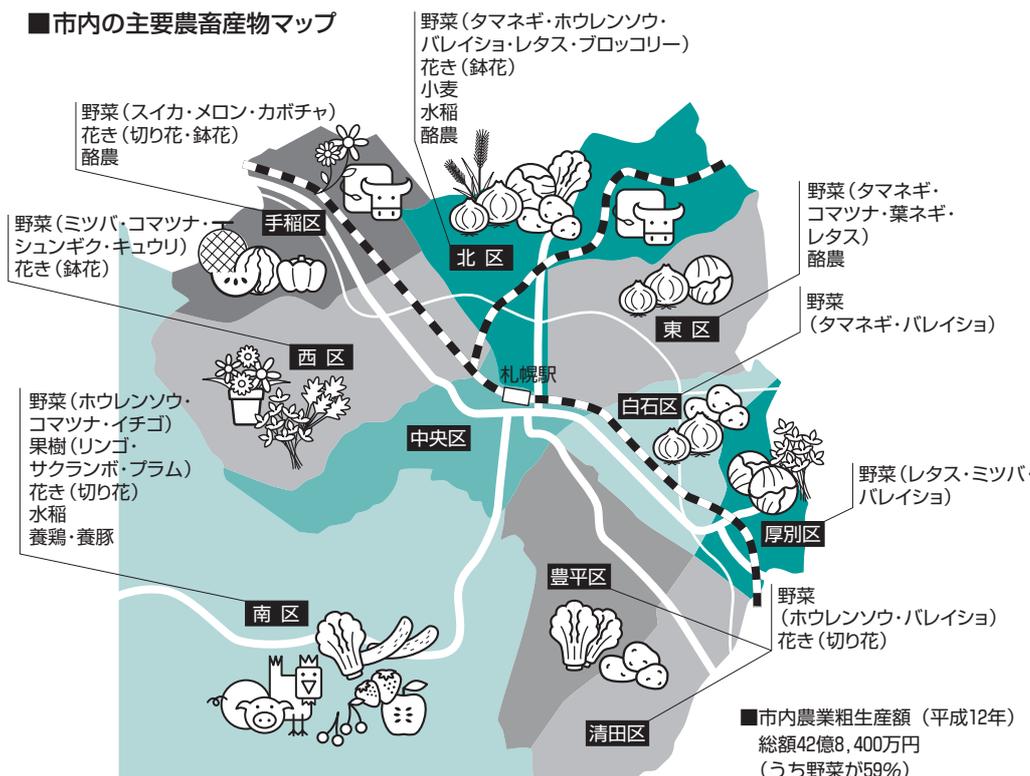
清田区の真栄、有明を中心に生産。柔らかく甘みがあり、栄養価が高い「ポーラスター」という銘柄で好評を博している。作付面積は道内市町村で第3位。



本市の農業に関する
お問い合わせは農政課

☎211-2406へ

■市内の主要農畜産物マップ



■市内農業粗生産額(平成12年)
総額42億8,400万円
(うち野菜が59%)

農畜産物の種類の豊富さが特徴

市内では、上で紹介した個性豊かな野菜をはじめ、果樹、切り花や鉢花などが栽培されているほか、酪農などが行われています。農畜産物の種類が多いのが特徴で、四季を通じて多くの消費者の食卓に彩りを添えています。また、市街地周辺の農地は、緑地空間として自然と調和したまちづくりにも役立っていることも忘れてはいけません。